

# ICTの活用など、多様なニーズへの対応

インターネット環境やwebを活用した教育システムや障がい者への教育支援モデルの構築

## 【特に優れた取組】

- 場所的・時間的障害を解消するための多様なICTを利用した授業の開発と実践（筑波大学）

## 【優れた取組】

- 共生社会を可能にするための、障がいを有する法科大学院生に対する  
教育支援モデルの構築と提示の取組（一橋大学）
- “OULS’ SA”（オルサ）掲示板システムによる自主学習ネットワーク構築の取組（大阪大学）
- ①「特別履修者制度」を用いた法学部との連携による優秀者の受け入れプログラム  
② 短期受講による法学適性判定－法科大学院お試し受講プログラム（青山学院大学）
- ICTを活用した授業の導入に向けた取組（中央大学）
- 「昼夜開講」と「秋入学」－多様な社会人が夜間に学ぶ法科大学院（甲南大学）

※ 平成28年度法科大学院公的支援見直し強化・加算プログラム審査結果（平成27年12月25日公表）より

# 筑波大学

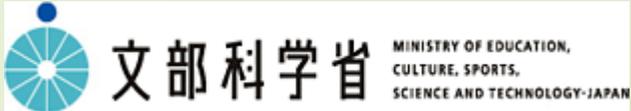
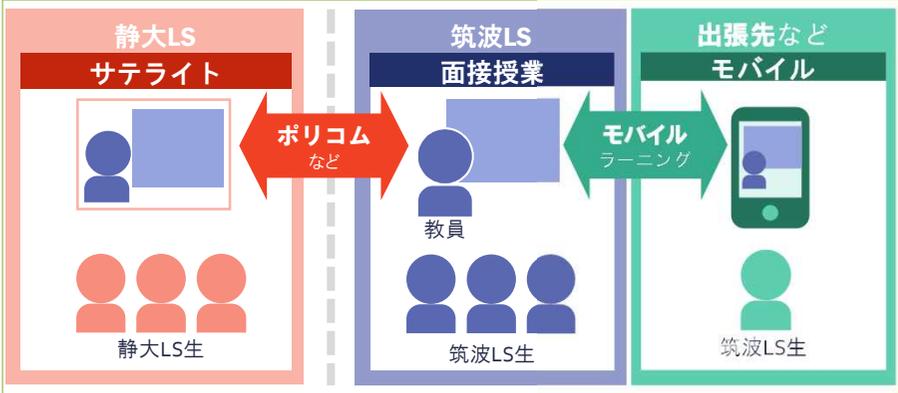
多様なニーズ  
への対応

◇プログラム名

場所的・時間的障害を解消するための多様なICT  
を利用した授業の開発と実践

## 概要

この取組は、地方在住者や有職社会人が法科大学院教育にアクセスしようとする際の場所的・時間的障害の解消を目的として、地方在住者に対しては「サテライト方式」、働きながら法曹を目指す社会人に対しては「モバイル方式」により、同時性と双方向・多方向性を確保したオンライン授業を提供するものである。サテライト方式は地方在住の複数学生がサテライト（静岡大学法科大学院）に集まって受講することを可能にし、かつ多様な科目の提供を可能にするものである。モバイル方式は、国内外の出張先からでもタブレット端末等により学生が受講することを可能にするものである。筑波大学法科大学院は従来より録画授業のデジタル配信等により有職社会人学生の時間的ハンデの解消に努めてきたが、これらのICT活用により、より一層の教育アクセスの実効性が期待できる。



# ICTの活用など、多様なニーズへの対応

優れた取組

インターネット環境やwebを活用した教育システムや障がい者への教育支援モデルの構築

## 一橋大学

共生社会を可能にするための、障がいを有する法科大学院生に対する教育支援モデルの構築と提示の取組

すべての授業科目にパソコンティーチャーを配置するほか、ビデオ教材は事前に文字起こしをし、模擬裁判や証人尋問では手話通訳を入れた。法科大学院における支援モデルを構築して発信し、財産として共有することを目指す。

## 大阪大学

“OULS’SA”（オルサ）掲示板システムによる自主学習ネットワーク構築の取組

ウェブ掲示板上で、在学生・修了生の質問に対してOB/OGの弁護士が回答した記録や学習に役立つ情報を整理・保存して、ナレッジ・データベースを形成するシステムを構築することにより、自主学習を支援する。

2つの取組を総合的に判定

## 青山学院大学

- ① 「特別履修者制度」を用いた法学部との連携による優秀者の受け入れプログラム
- ② 短期受講による法学適性判定 - 法科大学院お試し受講プログラム

- ① 優秀な法学部4年生に法科大学院の科目を履修する機会を設けて、法科大学院への理解と関心を高める。
- ② 法科大学院の授業と試験を短期間で経験することにより、法学学習への適性を判断する手がかりを提供する。

## 中央大学

ICTを活用した授業の導入に向けた取組

社会人や地方在住者など、誰にとっても学びやすい学修環境を整えるため、ICTを活用した授業の本格導入を目指して実証研究を行う。

## 甲南大学

「昼夜開講」と「秋入学」  
- 多様な社会人が夜間に学ぶ法科大学院

「秋入学」制度で8月入試合格者は9月から入学可能。「昼夜開講」なので会社員等の社会人は夜間に学び、昼の科目も選択できる制度設定。法科大学院受験や社会人の継続教育のため「科目等履修生」制度を併設。